

令和3年度第4回経営協議会議事録

日時 令和3年10月6日(水) 14:29～16:07
場所 本部棟大会議室 (一部の委員はZoomでの出席)
出席者 空閑学長, 松田理事・副学長, 佐藤理事・副学長, 船水理事・副学長, 内藤事務局長・副学長, 永野委員, 藤木委員, 吉田委員, 青山委員, 大日向委員, 片桐委員, 工藤委員, 谷内委員, 中村委員, 西尾委員, 峰雪委員
欠席者 池山委員
出席オブザーバー 高橋監事, 増江監事, 桃野副学長, 木幡副学長, 董副学長

議事に先立ち, 前回までに開催した経営協議会議事録が確認された。

議題1 目的積立金の執行計画について

学長から, 資料1に基づき目的積立金の執行計画について提案があり, 審議の結果, 原案のとおり了承され, 役員会に附議することとされた。

資料1-1 目的積立金の執行計画について
資料1-2 目的積立金執行計画(R3執行分)

報告1 国立大学法人ガバナンス・コード適合状況の更新について

学長から, 資料2に基づき国立大学法人ガバナンス・コード適合状況の更新について報告があった。

資料2-1 国立大学法人ガバナンス・コード適合状況の更新について
資料2-2 国立大学法人室蘭工業大学ガバナンス・コード適合状況報告書(案)
資料2-3 適合状況報告書(案)(基本原則全体)
参考資料2-1 監事の調査対象となる書類一覧
参考資料2-2 公表・報告スケジュール

報告2 大学の近況について

学長から, 資料3に基づき大学の近況について報告があった。

資料3 大学の近況について

懇談1 社会が求める大学院の在り方について

資料4に基づき社会が求める大学院の在り方について懇談を行った。

(学外委員からの主な意見)

工藤委員

- ・企業としては, 大学院生は即戦力と考えている。可能であれば, 大学院博士前期課程の学生を増やしていただきたい。
- ・私たちの会社もデジタル化を進めていく必要があるが, 人材が少ない。大学がデジタル化に関する基礎教育をしていただければ, 私たちの会社にとってもありがたい。

峰雪委員

- ・データ処理技術を高めることは産業界ニーズにも合致しているが, 高い専門性だけでなく, コミュニケーション力をより一層磨くことが必要なのではないか。

谷内委員

- ・北海道としても胆振管内に大学院人材を企業等に輩出できることは非常に良いことであると考えます。

大日向委員

- ・大学院の授業形態を現状に合わせて変えていく必要がある。

片桐委員

- ・高い専門性と社会性コミュニケーションのバランスをどのように取るか，また大学院の魅力をどのように伝えるかが課題である。

資料4 社会が求める大学院の在り方について

以上